



3月の園だより

令和5年3月1日
目黒区立中町保育園園長

暖かな陽ざしに包まれ、園庭の桜の蕾も膨らみ始めています。いよいよおひさま組の子どもたちは卒園の日を迎えます。就学に向けた取り組みとして、近隣保育園の5歳児と公園で鬼ごっこやドッジボール等、好きな遊びを一緒に楽しんでいます。子どもたちは、クラスの仲間の世界から一步広がり新しい友達とも出会える就学への期待に胸を膨らませています。

この時期は、各クラスの子どもたちの成長の姿に頼もしさを感じます。友達と好きな遊びを十分に楽しみながら、自分の思いや考えを伝えられるようになっていきます。また、異年齢の関わりでは“あんなふうにやってみたい”という憧れから真似をしたり、挑戦をして遊ぶ姿がたくさん見られます。今年度も残すところ1か月となりましたが、子ども一人ひとりの成長を見守り、進級に向け充実した日々を過ごしていきたいと思えます。

第三者評価の結果につきましては、今月中に公表される予定です。いただいた貴重なご意見は、今後の保育に向け、検討し取り組んでいきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

行事予定

卒園式

お別れ遠足（3・4・5歳児）

お別れ散歩（5歳児）

身体計測

避難訓練

移動日

お別れ会

※移動日は新年度に向けて準備を行います。



保健室より

＜感染症にご注意ください＞

1月からインフルエンザや感染性胃腸炎の流行が報告されています。発熱時や胃腸炎症状がある時はかかりつけ医の受診をお願いします。

下痢をしている時は、下痢が治まってから登園してください。水分しか飲めずに登園すると脱水を起こしたり、体調が更に悪くなり回復までに時間がかかることがあります。

生活リズムを整え、手洗いうがい、風邪予防をして季節の変わり目も元気に過ごしましょう。



～こんなに大きくなりました～

もも組（0歳児） 『 同じ事がしたい 』

お出かけごっこをしています。保育士と“いってきます、いってらっしゃい”と手を振り、やりとりしている姿を見て、別の子どももやって来ました。同じ事をしたいという気持ちから、友達が持っていた鞆に手を伸ばしていたので「お出かけごっこしたいんだね、鞆ならここにあるよ」と渡すと、嬉しそうに受け取りました。そして“いってきます”と歩き出し、友達とハイタッチや手を握り合うなどして楽しんでいました。保育士との関わりから少しずつ友達へと興味も広がってきて、“同じようにやってみたい”“友達と一緒に楽しい”と感じ始めています。

たんぼぼ組（1歳児） 『 はい、どうぞ。 』

動物人形で遊んでいると、友達が使っているゾウが欲しくなった子どもが「ちょうだい」と伝え「だめ！」と断られ泣いてしまいました。断った子どもは泣いている友達の様子をしばらくじっと見た後“貸してあげようかな”という気持ちになったようで「はい、どうぞ」と人形を渡しに来てくれました。泣いていた子どもの大粒の涙はピタッと止まり「ゾウさんくれた！」と喜んで、お互い笑顔で一緒に遊び始めました。子どもたちは保育士に気持ちを受け止めてもらいながら、1年間自分の思いをたくさん主張してきました。保育士が仲立ちをすることで、友達と一緒にやり取りを楽しめるようになってきました。

ちゅうりっぷ組（2歳児） 『 ちゅうりっぷ山 』

園庭に出ると1人の子どもが「お山作ろうよ」と保育士を誘うと、それを聞いた数人の子どもが来て仲間に入り、みんなで山を作ることになりました。保育士が「山が大きくなってきたね」と言うと「もっと大きくしよう」と張り切って砂を積んでいき、白砂をかけたり子どもたちの発想が広がっていきます。完成した山を見て「やったー！ちゅうりっぷ山だ」とみんなで笑い合っていました。好きな遊びを1人でじっくり遊んでいた子どもたちが、同じ遊びを通して「楽しかったね」と喜び合ったり、時には意見を言い合ったりしながら友達とやり取りをして遊んでいます。



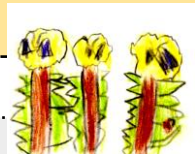
ほし組（3歳児） 『 一緒に遊ぶと楽しいね 』

自分で描いた絵を冊子にして絵本のように読み聞かせをしたり、紙を巻いて作った棒を付けペーパーサークルにして劇ごっこをしたり、自分たちで作ったストーリーを友達に見せて楽しんでいます。「〇〇ちゃんがお買い物に行って、〇〇ちゃんに会って」と友達がたくさん登場すると、登場した子どもは「えー」と少し照れながらも嬉しそうに話を聴いています。周りの子どもも「私も作りたい！」と同じように作り始めて、遊びがどんどん広がっています。友達の話を聴いて「楽しいね」と言葉や表情で共有し合って一緒に遊ぶ楽しさを感じているので、保育士も楽しさに共感しながら仲立ちし、友達関係を深めていきたいと思っています。



つき組（4歳児） 『 考え合う姿 』

外遊びが始まると「みんな集まって、どろけいするよ」と声をかける子どもがおり、子どもたちの輪ができます。「今日は鬼何人にする？」「3人がいい」とルールを決め合って遊びがスタートです。友達と協力する姿も見られ「そっちに行って、一緒に挟み撃ちしよう」「みんなで“せーの”で飛び出そう」と声をかけ合い、作戦を立てて楽しんでいます。1年間、いろいろな活動を子どもたちが主体的に進めてきたことで自信が付き、自分たちで活動を進めようとする姿や、どうやって遊ぶのか内容やルールを考え合う姿が見られるようになってきました。友達と一緒に活動を進める楽しさを感じている子どもたちです。



おひさま組（5歳児） 『 おひさま組の仲間 』

卒園式で話す「思い出の言葉」を決める時に、季節ごとの出来事を振り返り「あの時、楽しかったよね」と思い出しながら「こうやって言うのはどうかな」「こっちの方がいいかな」と次々に子どもたちから案が出て、みんなの思いを繋いでつくりました。卒園制作は、おいしい野菜を育てられるようにと大きなプランターに絵を描いてプレゼントすることにしました。「赤ちゃん組は、これが好きだよね」と使ってくれる相手のことを考えながら、何の絵を描くかなど友達と相談して描いていました。春から様々な活動に取り組み、友達と思いを出し合う中で、いろいろな考え方や感じ方があることを知り、気持ちの折り合いをつけようとするようになっていきます。保育園生活の中で自分の力を発揮しながら友達と協力し励まし合って育ってきた経験を活かし、小学生になっても友達とたくさん遊んで、友達を大切にしたい自分も友達から大切にされて、楽しい小学校生活を送って欲しいです。

